

ヨーロッパ有数の環境都市フライブルク

庄 司 真理子

1. はじめに

「この植木鉢をください。」

「だめです。」ドイツ人らしい返答がかえってきた。

白い陶器の植木鉢、ちょうど私が欲しいと思っていた大きさに近い。しかし花屋さんのこの若い店員は即座にノーと答える。売る気がないのかしら、と思いつつ私はけげんな顔をして店員を見つめた。

「どんな植物を植えるんですか？どのくらいの大きさの植物ですか？」店員は専門家らしい威厳をもって私に問いたです。

なんという名の植物かわからない。その植物の大きさも正確には計ってこなかった。ただあの観葉植物には、この植木鉢がちょうどよさそうだという目分量で、植木鉢を求めようとしていた。返答につまった私は、その植物の正確な名前はわからないこと、店に置いてある植物を指差して、これと似た木であること、大きさは両手で示して、だいたいこれくらいであることを店員に告げた。

「お待ちください。いまメジャーを持ってきます。」店員は私の両手で示した目分量の大きさと、植木鉢の口径を正確に計るためにメジャーを取りに階下へ降りていった。店内を見

回すと、5ミリ間隔で様々なサイズの口径の植木鉢が並んでいる。色も材質も様々である。私の求めようとしていた植木鉢は、外見が非常に美しく、中に植物を植えなくともそのまま室内の飾りになりそうなものだった。またそれは作りに手が込んでいる分、値段は高かった。しばらくして戻ってきた店員は、難しそうな顔をしながら、私が示した目分量の手の幅と、植木鉢の口径を計り始めた。考え深げな顔をして最後に私に一番安い材質の素焼きの植木鉢をひとつ指し示した。植物の呼吸や、水はけなどを考えると、この素焼きの材質が一番良いというのだ。値段の高いものを買うより、植物の成長にとって一番大切なことを考えるべきだと諭された。おかげで私は、最初求めようとした植木鉢の半額以下の安い植木鉢を買ってその店をでた。植木鉢ひとつ買うのにひと苦勞だった。

ドイツ滞在中、このようなドイツ人氣質にいたるところで遭遇した。環境問題に対しても律儀に細かい配慮をしつつ対応している。時として息が詰まるほどである。フライブルク滞在中に学んだことは数知れない。ここでは次の三点を中心に話しを進めようと思う。ひとつはゴミ対策、次に交通規制、最後に難民問題である。これらの対策ひとつひとつに彼らの真摯な姿勢がうかがわれた。

2. ゴミ対策

天気のよい真夏の午後、ベビーカーに乗せた我が子とともに、私はのんびりとバスに揺られながら車窓を楽しんでいた。隣席に太ったドイツ人女性が座った。彼女は注意深げに自分の着席する予定の椅子の周囲に落ちているゴミを拾い、さらに買物袋から取り出した雑巾で自分の席の横の窓ガラスを掃除した。ひととお

り簡単な掃除が済むとやっと安心して椅子に腰掛ける。特にめずらしくもないドイツ人によくある仕草である。ドイツ人は本当にきれい好きだ。街を歩いていても表通りはおろか、小さな裏通りにいたるまで、街の隅々に掃除がゆき届いており、チリひとつ落ちていない。ゴミ対策も几帳面なドイツ人ならではの細かい配慮が見られる。

ゴミの収集方法については、日本でも最近ではドイツに比肩するほどの細かい配慮がなされるようになった。分別収集、ゴミ袋の有料化など地方自治体によって工夫が見られる。

フライブルクの場合、まず市役所へ出向いて住民としてのゴミ登録をしなければならない。登録には登録料が必要である。それも家族の人数によって異なる。登録が済むと指定のポリバケツがふたつ渡される。このポリバケツの大きさも家族の人数によって異なる。所定のポリバケツ以外のゴミは一切収集してもらえない。市



ポリバケツとミュール・ザック

役所から渡されたゴミ・カレンダーに従って、所定の収集日に各戸の前の道路ぎわにポリバケツを出しておく。収集日以外にはゴミは収集しない。ポリバケツは市から転出する時には市役所に返還する。ふたつのポリバケツは生ゴミ用と資源ゴミ用に分けられる。資源ゴミについてはポリバケツ以外にゲルブ・ザック (Gelbe Sack) と呼ばれる袋が無料で渡され、ポリバケツに入りきれない場合でも、この袋に入っていれば無制限に収集してくれる。生ゴミの方はポリバケツに入りきらなかった場合にはミュール・ザック (Müll Sack) と呼ばれる袋を市役所から一枚 6 マルク (約500円) で購入してその袋に入れて収集してもらう。ゲルブ・ザックに入れることのできる資源ゴミは大きく分けて次の三種である。あき缶類、牛乳パック類、プラスチック容器類である。資源ゴミとして捨てる場合にはすべてきれいに洗ってからでなければならない。プラスチック容器類は、液体洗剤

Mai

92

Gut sortiert - besser verwertet

Die Grüne Wertstoff-Tonne

Grundsätzlich: Lebensmittelreste, stark verschmutzte und nasse Abfälle gehören nicht in die Grüne Wertstoff-Tonne.

1. Papier In die Grüne Wertstoff-Tonne: Zeitungen, Zeitschriften, Illustrierte, Bilder, Kataloge, Schulhefte, Packpapier, Kartons, Schachteln, Prospekte. Nicht in die Grüne Wertstoff-Tonne: Beschichtetes Papier (mit Metall, Kunststoffe, Wachs usw.) Milchtüten, Kaffeetüten, Safttüten, Windeln, Hygienetücher, Papiertaschentücher

2. Glas In die Grüne Wertstoff-Tonne: Nur leere Flaschen und Gläser. Nicht in die Grüne Wertstoff-Tonne: Fensterglas,

Nicht in die Grüne Wertstoff-Tonne:

Verbundmaterial, beschichtete Folien, metallbeschichtete Kaffeetüten, Kugelschreiber.

4. Kunststoffe In die Grüne Wertstoff-Tonne: Plastikfolien, Plastiktüten, Joghurtbecher, Shampoo-Flaschen, Waschmittel-Flaschen, Styropor. Nicht in die Grüne Wertstoff-Tonne: Beschichtete Kunststoffe, Verbundmaterialien, Musikassetten, Schaumstoffe, Gummi, Einwegspritzen.

5. Textilien In die Grüne Wertstoff-Tonne: Nicht wiederverwendbare Kleidungsstücke und sonstige Textilien - Altkleider wie bisher zur Altkleidersammlung.

Porzellan, Keramik, Scherben, Splitter, Glühbirnen.

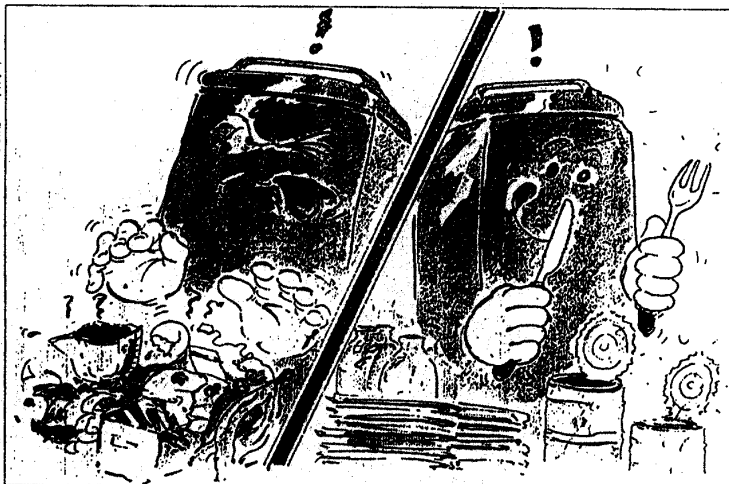
3. Metalle In die Grüne Wertstoff-Tonne: Konservendosen, Spraydosen, Getränkedosen, Metalluben, Haushaltsgeräte, Metallreste von Fahrzeugen, Schrauben, Nägel.

Nicht in die Grüne Wertstoff-Tonne:

Leder, Schuhe, Teppichboden, Polstermatratzen, Schaumstoffe, stark verschmutzte Textilien.

Beratung - Tel.: 88599-56

Weitere Informationen im "Abfall ABC".



Veranstaltungen Mai:
30.04.-03.05. Schlinger Hahnen
01.05. (Freitag) Erntedankfest, Bickelsch
15.05.-18.05. Freiburg - St. Georgener Weinweg
15.05.-18.05. Berliner Weinweg
16.05.-25.05. Frühjahrsfest, N. Platz

Veranstaltungen Mai:
22.05.-24.05./2. Breisacher Sektifestival
28.05.-31.05. Südbad/Modellbau, Stadthalle
28.05.-31.05. Frühjahrsfest, Odenwald
29.05.-31.05. Schlachtfest, Kirchhofen
29.05.-01.06. Mäheernt, Hattersheim

Tag der Arbeit	
Fr	1
Sa	2
So	3
19.kw Mo	4
Di	5
Sa	16
So	17
21.kw Mo	18
Di	19
Mi	20

Mi	6	Do	21	
Do	7	Fr	22	
Fr	8	Sa	23	
Sa	9	So	24	
Muttertag	So	10	22.xw Mo	25
20.xw Mo	11	Di	26	
Di	12	Mi	27	
Mi	13	Chr.Himmelfahrt	Do	28
Do	14	Fr	29	
Fr	15	Sa	30	
		So	31	

フライブルク市のゴミ・カレンダー

の容器のような分厚いものから、マーガリン、ヨーグルトの類いの薄い容器まですべて資源として再利用される。さらに発砲スチロールのトレイなども資源となる。これらの資源ゴミはスーパー・マーケットでも収集してくれる。買物に出かけたついでにスーパー・マーケットの出口に配置してある資源ゴミの回収箱に同類のゴミごとに分けて捨てる。ゲルブ・ザックに入れないが、資源ゴミとして収集されるものもある。古着、古紙、ガラスびんの類いである。これらは市内の要所要所に回収ボックスが配置しており、いつでもこの回収ボックスに廃棄できるようになっている。ガラスびんについては、白、緑、茶色に分けて捨てる。

ゴミ収集に関する配慮もさることながら、ゴミを出さない配慮も細かい。庭のある家庭ならばそのほとんどがコンポストを設置して、生ゴミはそこに入れて再利用する。スーパー・マーケットで売られている食料品も、ほとんど発砲スチロールのトレイや薄いプラスチック容器などには入れていない。野菜は各人が必要な分量だけ購入できるように計りが設置されていて、自分で野菜の重さを計ってその野菜に値段シートを張りつけてレジへ持っていく。野菜が最初から袋詰めされていたり、一山いくらという買い方をしなくても、りんご一個、ほうれん草一枚から計り売りで購入できる。必要であればこれらの野菜を薄いビニール袋に入れて持ちかえることもできるが、布製の買物袋（エコ・バック）に直接入れて持ちかえる人が多い。スーパー・マーケットで買った品物を入れるビニール袋は有料である。日本ではビニール袋は無料、ビニール袋を利用しなかった場合にはエコ・ス

タンブをもらうというシステムの店が多いが、ドイツではビニール袋そのものに平均30ペニヒ（約25円）程度の値段がついている。

ドイツ人のゴミに対する配慮は、周辺の国々との非関税障壁の問題にまで発展することもある。日本では、お風呂上がりに枝豆に缶ビールといえば、夏の風物詩である。しかしビールの本場ドイツには缶ビールというものは存在しない。ほとんどがびん入りである。ソフト・ドリンクからお酒のたぐいまで、飲み物を入れる容器については細かい規制がある。缶ジュースの自動販売機はドイツでは皆無に等しい。缶入りは、その缶がスチール製であろうと、アルミ製であろうと認められない。めずらしく自動販売



古着回収ボックス

Das neue Sammelsystem für die Wertstofferfassung

Der Gelbe Sack

für Metalle, Kunststoffe und
Verbundstoffe.

Metalle

Konserven

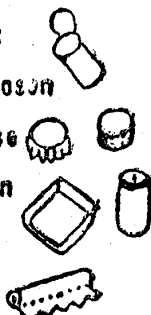
Getränkedosen

Verschlüsse

Alu-Schalen

Alu-Deckel

Alu-Folien



Verbundstoffe

Getränke- und

Milchkartons,

Vakuum-

verpackungen



Kunststoffe

FOLIEN: Tragetaschen,

Beutel, Einwickelfolien

FLASCHEN: Von Spül-

Wasch- und Körper-

pflagemitteln

BECKEN: Milchprodukte,

Margarine, etc.

SCHAUMSTOFFE: Obst-

und Gemüsepackungen

und andere geschäumte

Verpackungen

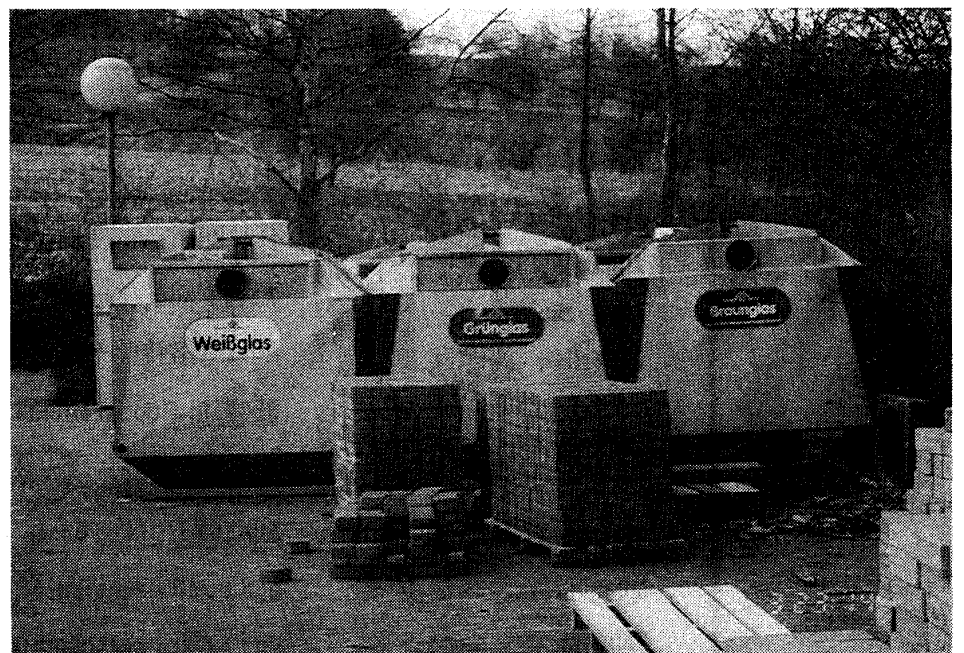


Sauber und ohne Inhaltsreste
Nur zugebundene Säcke
werden mitgenommen

ゲルブ・ザックの分別方法



古紙回収ボックス



ガラスびん回収ボックス(左から、白、緑、茶色)



ドイツのエコ・マーク



Aus 100%



再生紙利用マーク

機にお目にかかったとしても紙コップに飲み物が注がれる。カルキの多いドイツでは週末に飲料水を購入するのは男性の仕事のひとつであるが、この飲料水もびん入りか紙パックに入っている。プラスチック・ボトルに入った飲料水は輸入禁止である。日本でも容易に手に入るフランス製のおいしい水（ボルビック Volvick やビッテル Vittel など）もプラスチック・ボトルに入っているという理由から、ドイツでは手に入れることはできない。同じ欧州共同体（現在の欧州連合）内の商品でも環境基準には厳しい規制を課す。日本製の『使い捨てカメラ（写るんです）』も旅行客相手の一部の店にしか置いていない。これも輸入規制の対象となっており、環境に配慮の足りない商品とされている。飲料水や酒類のあきびんは、中身を売った店が有料で買い取るシステムが徹底している。

資源ゴミの再利用の方法も興味深い。卵のパックはほとんどが再生紙で作られている。プラスチックのパックは使われていない。卵のパックには古紙のリサイクルのシステムが描かれ、再利用の大切さを強調している。ノートやレポート用紙の類いも無漂白の再生紙であることが明示され、裏表紙には大きく再利用のシステムが説明してある。大きくリサイクルのシステムが明示してあること、エコ・マークがついていることなどが商品の信用を高める標識となる。トイレット・ペーパーなども無漂白でペーパーのいたるところに再利用や環境への配慮を唄う文句が刻まれているものが多い。

また再生紙だからこそ使い捨てられるし、その使い捨てが衛生への配慮であることを示す現場にも遭遇した。医療現場である。

「風邪かな？ちょっと喉の奥を見せてください。」お医者さんが舌圧子を舌にあてて懐中電灯で喉の奥を照らす。この時の舌圧子は再生紙で作られている。また、けがをして傷口を消毒する時に傷口から流れ出る血液や、使用後の消毒綿を受けとめる膿盆も再生紙でできている。それらは消毒して再利用することはない。衛生への配慮から使い捨てられる。患者さんが横になるシーツや枕カバー、椅子のカバーなども無漂白の再生紙が使われ、大型のトイレット・ペーパーのように巻取り式になっている。そのため簡単に次の患者のためにそれらを交換して、使用済みのものは使い捨てられる。

日本人は総じて神経が細かく、衛生面には配慮の行き届いた国民であると思っていた。しかし、ドイツのチリひとつ落ちていない街並みと、ゴミに対する厳しすぎるほどの配慮の細かさを見た時に、考えさせられることひとしきりであった。

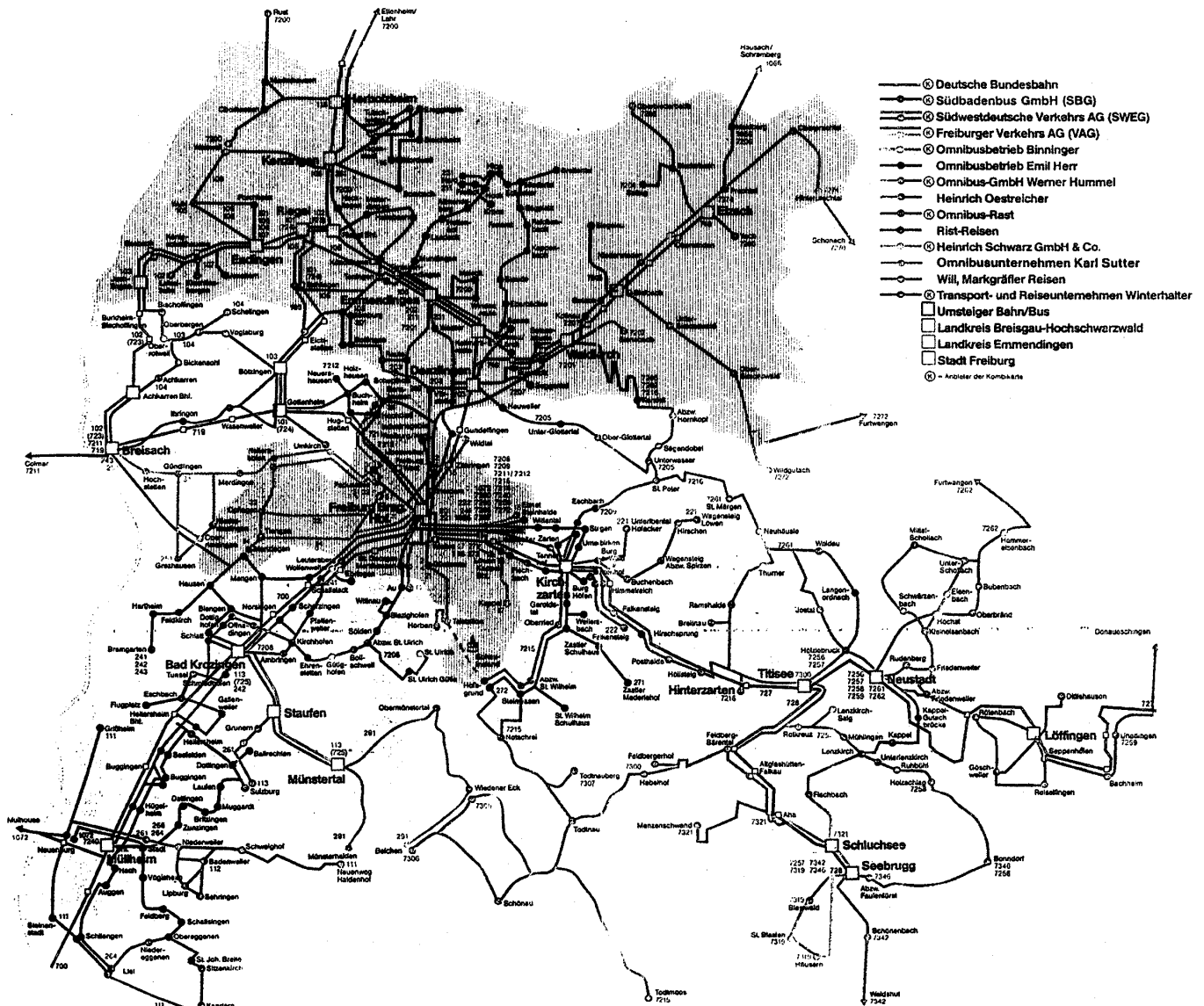
3. 交通規制

真夏とはいえライン河の川面をそよぐ風は涼やかで、すがすがしかった。気持ちのいい舟くだり、右岸には針葉樹が植えられ、左岸にはポプラが並んでいる。右岸はドイツ、左岸はフランスだ。それぞれのお国柄を河岸の樹木までが語っている。フライブルクの街中から国境を越えてフランスのコルマーへ行く。レギオ・カルテ Regio Karte 一枚あれば、交通費は必要ない。レギオ・カルテを所持していれば、一カ月、電車とバスは乗り放題、フライブルクを中心におよそ100キロ四方、国境を越えてフランスやス



レギオ・カルテ

イスまで行くことができる。金額は一枚49マルク（日本円で約4000円）、毎日出歩く人間にとっては大変安い交通費である。このレギオ・カルテは、自動車の排気ガス対策のひとつとして考案されたものだ。人々がなるべく自家用車を利用せずに、公共の交通機関であるバスや電車を利用すれば、それだけ自動車の交通量も減り、排気ガスも減少する。そのためには公共の交通機関が乗りやすく、安価なものでなけれ



レギオ・カルテで乗り放題の範囲

ばならない。レギオ・カルテは、そんな環境への配慮から生み出されたものだ。このフリーパス一枚のおかげで私たちはスイスのバーゼルへ出掛けたり、保養地として有名なボーデン湖へ出掛けたり、ロープウェイや登山電車に乗ってシャウインスランドへ遊びにいたり、ドイツ式のプールやリハビリ施設の整った温泉、クア・ハウスへ行ったり、

思う存分楽しむことができた。ところでこの交通機関、次第にバスよりも路面電車を増やす傾向にある。日本では東京など大都市で、自動車の交通の妨げになるという理由から、路面電車はほとんど姿を消し、バスにとって代わっている。しかしドイツでは、排気ガスのことを考慮した場合、路面電車のほうがバスよりも環境に害を及ぼさないという配慮からバスが路面電車に代わる傾向にある。

フライブルク市の交通機関への配慮として、いま一つ考案されたのは、市中心部への自動車の乗り入れの禁止である。市中心部には、諸官庁、オフィス街、デパート、有名専門店、劇場、博物館、美術館、大学等々、市の中核にあたる機能が揃っている。市の周辺に住む人々は、用があればこの市中心部に集まってくる。この中心部への車の乗り入れを禁止したわけである。中心部といっても広さは約1キロメートル四方の区域で、その交通禁止区域の周辺には数多くのパーキング・エリアが設けられている。公共

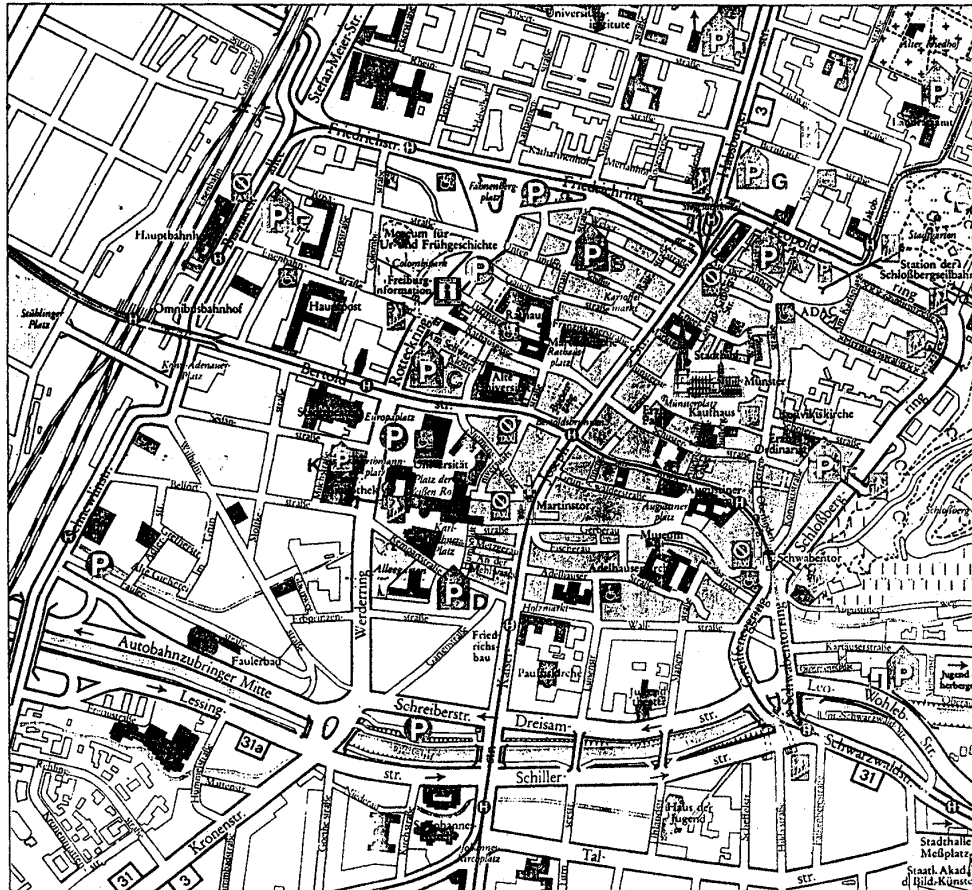


路面電車

の交通機関を使うことも不便な人々は、この周辺のパーキング・エリアまで自家用車で出向いてきて、そこで車を降りる。また車椅子やベビーカー連れの人々もパーキング・エリアから移動しやすいように、各所にエレベーターやスロープが設けられている。さらに彼らが容易に公共の交通機関を利用できるように、バスや電車の中に車椅子やベビーカーを設置する場所が設けられている。またこれら電車やバスは道路との間にステップがあるため、乗り降りが不便だが、周囲の人が誰でも車椅子やベビーカーの乗降を手伝う。日本では電車やバスに乗る場合、車椅子やベビーカーを折りたたむように指示されるうえに、駅の階段やバスのステップで、他人がこれらの昇り降りを手伝うといった光景にはまずお目にかかれない。また実際にどこをどう持って階段を昇り降りしたら危なくないか、介添えする立場にたった場合にも手ほどきを受けていない日本人にはよくわからない。ドイツ人はそれらの介添え方法を小中学生のうちから教

え込まれるそうだ。ベビーカー連れの私は、ドイツと日本の街を歩く場合の便不便の違い、周

囲の人々の人情の違いを痛いほど感じさせられた。



市中心部の地図：色が濃い部分が自動車乗り入れ禁止区域、Pが駐車場

Freiburg Innenstadt

- A Parkhaus am Karloplatz
Öffnungszeiten: Tag und Nacht durchgehend
 - B Schwarzwald-City, Schillstraße
Öffnungszeiten: Mo-Sa 7.00-23.00 Uhr,
Son- und Feiertag geschlossen
 - C Rotteckgarage am Rotteckring
Öffnungszeiten: Mo-Sa 7.00-12.00 Uhr,
Son- und Feiertag 8.00-12.00 Uhr
 - D Parkhaus in der Remppstraße 6-8
Öffnungszeiten: Mo-Sa 7.00-24.00 Uhr,
Son- und Feiertag geschlossen
 - E Parkhaus in der Volkshank, Bismarckallee 10
Öffnungszeiten: Mo-Fr 7.00-19.00 Uhr,
Sa 8.30-15.00 Uhr, Son- und Feiertag geschlossen
 - F Schloßgarage, Schloßberg
Öffnungszeiten: täglich 8.00-12.00 Uhr
 - G Parkhaus Zähringer Tor, Bernhardstraße 2
Öffnungszeiten: Mo-Fr 7.00-19.30 Uhr,
Sa 7.00-21.00 Uhr, Son- und Feiertag geschlossen
 - H Parkhaus Schwabentorgarage
Öffnungszeiten: Mo-Sa 7.00-23.30 Uhr,
Son- und Feiertag geschlossen
 - J Rotteckgarage, Habiburgerstraße
Öffnungszeiten: Mo-Sa 8.00-12.00 Uhr,
Son- und Feiertag geschlossen (Parkieren)
 - K Parkhaus Universität, Milchstraße
Öffnungszeiten: Sa 8.00 Uhr
bis 1 Stunde nach Ladenschluß
 - L Tiefgarage Landesrat, Stadstraße 2
Öffnungszeiten: Mo-Fr 7.00-20.00 Uhr,
Sa 8.00-18.00 Uhr, Son- und Feiertag geschlossen
- Parkplätze für Schwerebehinderte
mit Ausnahmegenehmigung
 Parkhaus
 Taxi-standplätze
 Haltestelle
 Fußgängerüberweg
 Fußgängerüberweg mit Zebrastreife
 Fußgängerüberweg mit Zebrastreife und Haltestelle
 Fußgängerüberweg mit Zebrastreife, Haltestelle und Taxi-standplatz
 Fußgängerüberweg mit Zebrastreife, Haltestelle, Taxi-standplatz und Parkplatz für Schwerebehinderte mit Ausnahmegenehmigung

Freiburg-Information

Freiburg-Information, Rattenberg 14, D-7800 Freiburg i. Br.
Tel. 0761/3669090, Telex 17-76113 ksa tbg,
Telex 761110 ksa tbg
Öffnungszeiten: 1. 5-31. 10. 8.00-21.00 Uhr
2. 11.-30. 4. 8.00-21.00 Uhr
3. 1. 8.00-21.00 Uhr

4. 難民問題

長く続くグレーの柵と白い兵舎、要所要所に銃を片手に立っている護衛兵……。『一体これは何?』物々しい雰囲気と驚きながら私は尋ねた。そこは在独フランス軍基地なのだそうだ。そういえば護衛兵がドイツ人にしては小柄で、フランス人形のようにタックの多い丸みをおびた軍服を着ている。ドイツは日本と同様に第二次世界大戦の敗戦国である。日本に現在も在日アメリカ軍基地が存在するように、ドイツにも在独フランス軍基地が存在する。急にドイツと

日本が近いものを感じられた。しかしこのフランス軍基地も、1992年8月末日には引き上げていった。欧州統合が強化されるためだそうである。ドイツ滞在中、いたる所でヨーロッパ合衆国という言葉を目にした。建前に忠実なドイツ人は、ドイツ国旗以上に欧州共同体の旗を高く揚げ、これを大切にする。旗が建てられている場所へいくと、だいたい三本並んで立っている旗のうち、まん中にひときわ高く揚げられているのが欧州共同体の旗、左右にはドイツ国旗とフライブルク市の旗が同じ高さで添えられている。スイスから国境を越えてドイツへ入ると、

ここからは欧州共同体圏内であることを示すために、欧州共同体の旗のみが看板に描かれてい



在独フランス軍基地

る場合が多い。92年9月に入ると、在独フランス軍基地からはフランス兵が消え、閑散とした兵舎だけが残った。

さて問題となったのは、誰もいなくなった兵舎の利用方法である。すぐに浮上したのが、難民の宿舎として利用しようという案である。東西ドイツの統一、東ヨーロッパの民主化、ソ連の崩壊、旧ユーゴスラビアの紛争の激化……。これらの問題の波をかぶって、ドイツには大量の難民が押し寄せた。旧ソ連、ユーゴなどとは陸続きであること、ドイツはフランスやイタリアなど周辺のヨーロッパ諸国と比較してもGNPが高く、賃金も高いこと、また93年5月以前のドイツ憲法は、難民の入国に対して寛容であったことなどが要因となって多くの難民が、比較的豊かな旧西ドイツの領域に集まった。当時のドイツは激増していく難民への対応に苦慮していたのである。兵舎跡の利用方法については、フライブルク大学の学生を中心に市民の意見がふたつに別れ



在独フランス軍基地前に立つ欧州共同体の旗

た。一方の意見は、難民を旧兵舎に収容すると、ドイツの一般市民と難民との間に区別ができてしまう。難民を受け入れることには賛成だが、旧兵舎の柵の中に収容するのではなく、一般の市民の生活の中に溶け込ませるかたちで、町中に難民を住まわせるべきである、という考え方である。他方の意見は、難民はドイツに、着のみ着のままでやってき

て、当面すぐにでも雨つゆをしのげる場所を求めている。自活できるようになるまで、とりあえずは旧兵舎を宿舎として開放するべきである、という意見である。ことに前者の意見の学生や市民は、柵を乗り越えて旧兵舎に乱入して抗議した。そのためフランス軍に代わって、フライブルク市警察が兵舎跡地を護衛することとなった。町を歩く人の三人にひとり、いや二人に



フライブルク市の管理下に置かれた旧兵舎

ひとりは、ドイツ人ではなさそう。きれいだ好きのドイツ人の住む街の路端に、難民達が浮浪者のようにダンボールを敷いてあちらこちらに寝泊りする。折りしも旧東ドイツではネオ・ナチの運動が起こりはじめ、トルコ人やベトナム人がその標的とされている。フライブルクは南ドイツ、ネオ・ナチの動きからは遠く離れていたが、私もアジア人として考えさせられるひとこまもあった。人種差別をしてはならない。建前に忠実なドイツ人は、その姿勢をくずさぬように努力する。しかしその建前が我慢の限界に達したとき、どうなるのだろうか。日本は旧ソ連からも東ヨーロッパからも遠く離れた島国である。ヨーロッパで起きている問題の波をそれほど大きくかぶらない。日本で語られている難民問題も移民労働者問題も、ドイツほどの生活圏にかかわるような危機感を持つては語られていない。難民や移民労働者としてやってきた人々も、祖国で安心して豊かに暮らせるのなら、何

も好き好んで異国の地で暮らしたいとは思わない人が多いだろう。難民問題は地球上の人間の住環境の問題としてその対策が急がれよう。ゴミ問題や自動車の排気ガスの問題については、合理的な対応策が見いだせたドイツ人も、難民問題に対しては、適切な対応策を見いだせないでいる。

5. おわりに

FREIBURG im Breisgau プライスガウ谷のフライブルク、短い期間ではあったが、住み着いてみると第二の故郷のような、なつかしい響きを感じる。この町を再び訪れるのはいつのことだろう。楽しかった思い出ばかりを残して私はこの町をあとにした。氷点下10度、今日はそれほど寒いほうではない。今年はまだ一度も雪が降っていないが、あたりは凍てつく霜の銀世界……。霜はチリひとつ落ちていない街をさらに

冷凍消毒でもするかのように埋め尽くしながら、白くキラキラと輝いていた。冷たい市中心部の路面には、今日も難民達が座って音楽を奏でたり、芸を披露したりしている。

ここはヨーロッパの縮図のような町である。古くはローマ人が住み着き、城跡を残している。その後ハプスブルク家のもとに中世自由都市としてヨーロッパの商業の要衝地となった。フランスやドイツの支配下に置かれることもあったが、その歴史のほとんどを、どこの支配下にも属さない自由都市として過ごしてきた。現在はドイツに属しているが、この町の歴史をふりかえると、どこの国にも属さないヨーロッパ、裏返すとヨーロッパのすべての問題がこの町にふ

りかかってきている。

いまではヨーロッパ有数の環境都市として、失われつつある美しい自然環境の保護に真剣に取り組んでいる。かつては黒いほどの緑があふれていたシュバルツバルト（黒い森）、その最南端の町としての誇りもある。一方、フライブルク市ひとつの力ではとても解決しきれない大きな環境問題がこの町にもふりかかっている。人間環境としての難民問題である。美しいフライブルクよ永遠に！/そう思うと同時に、フライブルクが美しくあるためには、地球環境のすべての解決策を求めなければならない、ということもつもなく大きな課題が背後に控えている気がした。